

R4 熱海市立伊豆山小学校グランドデザイン

校

訓

きよらかに たくましく

伊豆山小学校の子ども観

全ての子どもは「よりよく成長したい」「認められたい」という思いをもっている。また、若く、柔らかい感性をもっている。子どもを愛し、成長を共に願う保護者がいる。子どもは地域・社会の宝であり、未来そのものである。全ての子どもを一つの人格とし

伊豆山小学校の学校観

学校は子どもが主体性を発揮して自己実現を果たし、自己肯定感・自己有用感を高める場である。学ぶこと・生きることへの意欲を育て、協働の難しさや喜び、仲間の温かさを実感させたい。教職員も職を目指したときに抱いた理想を追い、子どもや同僚の変容に充実感や喜びを感じる職場でありたい。

子どもの願い

物事に粘り強く取り組みたい。
あいさつや言葉づかいがきちんとできる子になりたい。

保護者・地域の願い

礼儀正しく、思いやりのある子になってほしい。
自分の思いや考えを伝えられる子になってほしい。

学校教育目標

人を思い 自分から伝え とともに伸びる

学校経営目標

- ・すべての教職員が子どもの些細な伸びを認め、価値付けて誉め、成長の喜びを分かち合おう
- ・子どもの主体的な学び、失敗を恐れずチャレンジする力を育てよう
- ・子どもの「今」を捉え、教職員・子どもの間で対話し、目標・手立てを共有して取り組もう

学校教育目標達成のための2つの柱

授業

今もっている知識や技能だけでは解決できない「かべ」や、同じ事実をもとに考えているのに友達との間で生じる「ずれ」に出合ったとき子どもの中に「問い」が生まれる。その問いを友達と共有し、課題解決に向け自分事として対象や友達と主体的に対話しながら自分の考えをより確かにしたり、深めたりする。対話の中で、相手を意識した伝え方を考え、共に高めあう仲間を感じる。獲得した力を実感し、他教科や生活に活用することで学びへのさらなる意欲をもつ。

スクラム活動（たてわり活動）

異年齢集団の中で、自治や自立の芽を育むために行事や生活の場においてスクラム活動を行う。学級の枠を超えた自分の居場所をつくっていく中でわきあがる「支え合う」気持ち、「あこがれの上級生」の存在、また「頼られる自分」に気付くことが自己肯定感・自己有用感につながる。教師は、子どもが失敗を恐れずチャレンジすることや主体的な言動を価値付ける。各チームの子どもも主体の活動を支え、お互いに成長を実感し、相手に思いを伝える子ども同士のふり返りを大切にする。

活動の焦点化を図るステージ制

0	I	II	III	IV	V
なりたい自分をイメージしよう 土台づくり 話し方・聞き方	仲間を知ろう 笑顔あいさつ スクラム結成式 遠足(1年生を迎える会)	学びをつくらう 問い・対話・活用 提案授業 読書週間 伊豆山フェスティバル	集まれスクラムパワー みんなのために 協力・支え合う 運動会	思いを伝えあおう 言葉・表情・行動で 青空集会 読書週間	ふり返ろう・つなげよう 感謝 語り合おう 給食記念週間 スクラム解散式 卒業式

幼小中連携教育

- ・梅香の会（熱海中学校区連携）
熱海中学校区ノーゲームデー
授業参観による研修交流
生徒指導的視点の研修会
学習相談会での特別支援教育
- ・幼稚園・保育園との交流

社会に開かれた教育課程

- ・学校評価 学校評議員会議
- ・伊豆山を語る会・地域防災連絡会議
- ・民生児童委員との懇談会
- ・こごい学習 こごいの森
伊豆山神社 伊豆海の郷 走り湯
七尾たくあん 徳田農園
伊豆山漁港 MOA美術館

学校経営の特徴

- ・全教職員参加の学校経営会議による教育課程編成
- ・ステージ集会を基本とした教職員、子どもによる目標と手立ての共有
- ・スクラム推進委員会による子どもの今の把握